

〔お客様へ この説明書は大切に保管してください〕

安全に関するご注意

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

必ず守る **表示された電源電圧・周波数で使用する。**
感電・火災の原因となります。

必ず守る **本製品の分解や改造、部品を変更しない。**
本器具の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災の原因になります。

必ず守る **光を直視しないでください。**
目の障害が残る可能性があります。

禁止 **器具のすき間に金属や可燃物などを差し込まない。**
火災や感電の原因になります。異常を感じた際は専門家（工事店・電気店）に相談してください。

必ず守る **万一、煙が出たり、異臭がしたりするなどの異常を感じたら電源を切る**
工事店・電気店に相談してください。継続使用すると感電・火災・落下・けがの原因になることがあります。

禁止 **破損した器具を使用しない。**
本器具が破損した状態で使用しないでください。速やかに電源を切り、工事店・電気店に相談してください。継続使用すると感電・火災・落下・けがの原因になります。

禁止 **可燃物を近づけたり器具の真下に熱源を置かない。**
本器具を布や紙などの可燃物でおおったりかぶせたり、可燃性の木製・樹脂製の家具を近づけたりしないでください。また真下に暖房器具などの熱源を置かないでください。変形・変色・火災の原因になります。

注意 誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

必ず守る **定期的**に点検する。
1年に1回外観をチェックし、変形・ひび割れ・ガタツキ・破損がないかをチェックしてください。異常がある場合は専門家（工事店・電気店）に相談してください。また、3年に1回は専門家（工事店・電気店）による点検をお受けください。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても劣化は進行します。専門家（工事店・電気店）に相談してください。異常を放置したり、長時間使用を続けると、発煙・発火・感電などの事故が発生する可能性があります。

必ず守る **適正温度(5℃～35℃)**で使用する。
適正温度外で使用すると、故障や短寿命の原因になります。

禁止 **被照射面と本器具の距離を100cm以上離し、外郭が構造物に触れないように使用してください。**
過熱による発煙・発火及び投光器の故障の原因となります。

禁止 **点灯中・消灯直後に触れない。**
点灯中や消灯直後は、本器具が高温になっていることがあるので触れないでください。やけどの原因になります。

必ず守る **積雪地域で使用する場合は、雪に埋もれないよう除雪してください。**
雪で埋もれると照明としての機能が失われるだけでなく、予期せぬトラブルの原因となります。

使用上のご注意

- 本器具は定置形器具です。それ以外の用途で使用すると、発煙、発火、感電、やけど、落下による事故の原因となります。
- 付属の落下防止ワイヤを必ず取付けて使用してください。取付けに不備があると本器具の落下の原因となります。
- 本器具は冠水のおそれのある場所では使用しないでください。漏電、感電、故障の原因になります。
- 本器具は掘り込まれた狭い場所や筒に囲まれた風通しの悪い場所には取付けしないでください。発煙、発火の原因となります。
- 本器具にごみや落ち葉が堆積する場所で使用の際は、定期的に本器具の掃除を行ってください。前面カバーなどにごみや落ち葉が堆積したまま使用すると温度上昇により発煙・発火、電源の故障またはLEDの短寿命の原因となります。
- 日中の点灯は施工時などの一時的な点灯としてください。本器具の短寿命やLED不点、発煙・発火の原因となります。
- 周囲温度が35℃を超える場所、直射日光の当たる場所で使用した場合、内蔵温度ヒューズが働きLEDが消灯することがあります。電子部品の保護機能であり、温度が低下すれば復帰しますが、このような環境下では使用しないでください。
- 本器具の前面カバーは交換ができませんので、キズなどをつけないでください。破損、防水不良、照度低下の原因となります。前面カバーに亀裂などを発見した場合は速やかな交換が必要です。ただちに電源を切り、専門家（工事店・電気店）などに相談してください。
- LED照明は、同一型番でも発光色、明るさが異なることがあります。
- LEDは白熱灯や蛍光灯などの一般光源と比較して色のぼらつきがあるため、個々のLEDにより色味が異なる場合があります。また、照射距離が近い場合は、照射面によって光むらや色むらが生じることがあります。
- 本器具の取り付けている場所で硫黄成分があるものを取り扱わないでください。メッキ工場などのように硫黄成分を含むガスなどが該当します。（ほかに一部の食品や薬品・紙類、車の排気ガスにも硫黄成分が含まれます。）光学性能に影響を与える場合があります。
- ビデオカメラを介して照射面を見た際、カメラのモニターや録画画像にしま模様やちらつきが見える場合があります。

お手入れ方法

安全に使用するため、以下の方法で定期的に清掃してください

- 清掃する際は必ず電源を切り、本器具が冷えたことを確認してから行ってください。
- 照明器具のすき間に金属や可燃物を差し込んで清掃をしないでください。内部に残った場合に、発火や火災の原因になります。
- 清掃には、洗剤（薄めた中性洗剤）を浸したやわらかい布をよく絞って拭取り、洗剤が残らないように乾いた布で仕上げてください。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。破損、変色の原因になります。

ランプ交換について

LED交換はできない構造です。定格寿命後は本器具の交換を行ってください。

YAZAWA LED投光器

この度は当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

■型番

FLLE50DNE01BK	FLLE50DWE01BK	FLLE50DWWE01BK
FLLE50DNE01WH	FLLE50DWE01WH	FLLE50DWWE01WH
FLLE90DNE01BK	FLLE90DWE01BK	FLLE90DWWE01BK
FLLE90DNE01WH	FLLE90DWE01WH	FLLE90DWWE01WH

施工説明 工事店様へ この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

※説明の図は製品と一部異なる場合があります。

誤った取り扱いをした場合に生じる危害とその程度を次の区分で説明しています。

警告 「死亡や重傷に結びつく可能性のある内容」です。

注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お守りいただく内容を、次の絵記号で説明しています。

禁止 してはいけない内容です。

必ず守る 実行していただく内容です。

安全に関するご注意

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

必ず守る **本器具は**
・周囲温度範囲が-20～35℃から外れる場所
・腐食性/可燃性ガスの雰囲気さらされる場所
・海岸線近くなど重い塩害を受ける地域
・湿度が85%を超える、または水に浸る場所
・振動、衝撃の多い場所
・粉じんの多い場所・可燃材に触れる場所
では使用しないでください。
発煙・発火、感電、落下の原因となります。

必ず守る **本器具の分解や改造、部品を変更しないでください。**
発煙・発火、感電、落下の原因となります。

必ず守る **前面カバー（グローブ）は、衝撃を加えたり、欠けやひび割れの発生している状態で使用したりしないでください。**
破損、落下の原因となります。

必ず守る **施工の際は施工説明書に従って正しく行ってください。**
誤った取扱いがあると、発煙・発火、感電、落下の原因となります。

必ず守る **施工は、施工説明に従って確実にを行い、改造しない。**
破損・落下・感電・火災の原因となります。

必ず守る **アース工事は電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。**
アースが不完全な場合は感電の原因となります。

必ず守る **本器具は落下、発煙・発火、感電などの危険を避けるため、質量や風圧などの荷重に耐える場所に確実に取付け、器具を布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。**
落下、発煙・発火、感電の原因となります。

注意 誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

禁止 **本器具の質量を十分確認して取付けてください。**
取付面が強度不足の場合は、器具落下の原因となります。

禁止 **被照射面との距離に注意してください。**
被照射面との距離が指定した距離より短い場合、本器具の熱による発煙・発火の原因となります。

禁止 **使用する電線は、施工説明書指定品と同等以上の性能を有する電線を使用してください。**
指定性能以外の電線を使用すると、発煙・発火、感電の原因となります。

禁止 **本器具質量に充分耐える強度を確保した構造物に取付けし、ボルトは過度な締付をしないでください。**
施工に不備があると、落下の原因となります。

禁止 **本器具取付けの際は、漏れ光の量・方向を考慮してください。**
漏れ光が環境へ悪影響を及ぼす原因になることがあります。

禁止 **電源接続の際に、定格電圧の±6%以内であることを必ず確認してください。**
定格電圧範囲から外れた電源を接続すると、発煙・発火・故障、不動作の原因となります。

禁止 **本器具の口出線を持つての運搬は行わないでください。**
断線や浸水による絶縁不良、LED不点、発煙、発火、感電の原因となります。

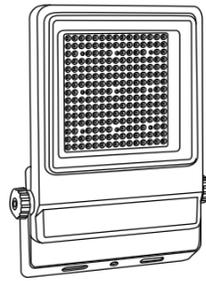
禁止 **移動灯として使用しないでください。**
事故、破損、故障の原因となります。

本体の種類

■本体型番

FLL50DNE01BK
FLL50DNE01WH
FLL50DWE01BK
FLL50DWE01WH
FLL50DWW01BK
FLL50DWW01WH

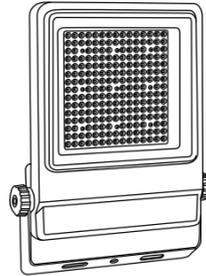
本体長：55mm
本体幅：280mm
本体高さ：305mm
本体質量：2.8kg



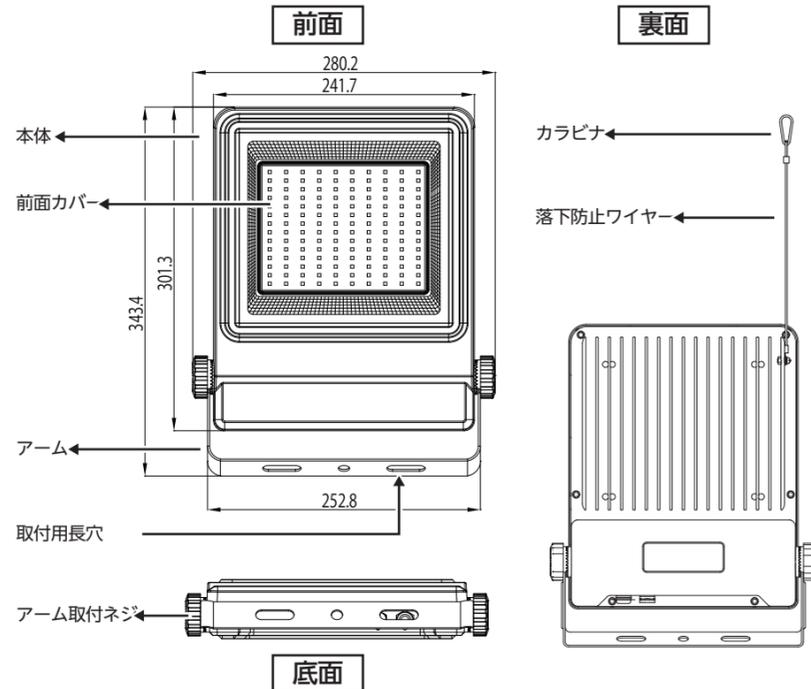
■本体型番

FLL90DNE01BK
FLL90DNE01WH
FLL90DWE01BK
FLL90DWE01WH
FLL90DWW01BK
FLL90DWW01WH

本体長：55mm
本体幅：280mm
本体高さ：305mm
本体質量：3.0kg

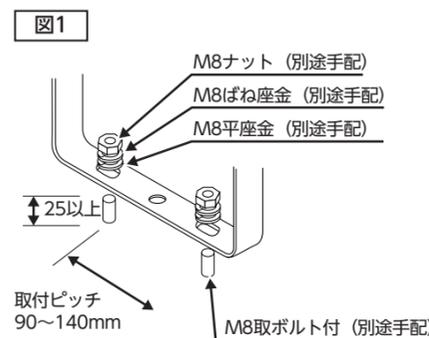


各部名称と寸法



投光器の取付

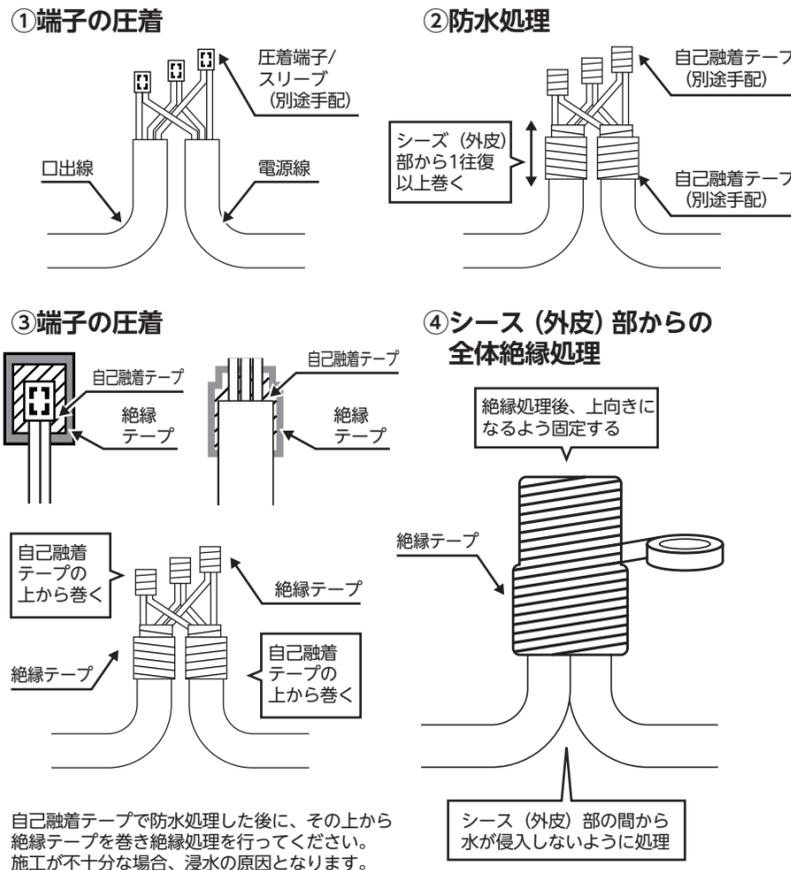
- 1 本器具の取付けは、電源を切った状態で作業を行ってください。感電の原因となります。
- 2 本器具のアームには図1のように取付穴（10.5×25.0長穴）が設けてありますので、M8ボルトに平座金、ばね座金、ナットの順に入れ、適正締付トルク24.5～30N・mで2箇所を緩みのないように確実に締付けてください。締付けが不十分な場合、本器具の落下による事故の原因となります。



電源線の接続

- 1 本器具の口出線との接続には、600V 2種EPゴム絶縁クロロプレンキャブタイヤケーブル（2PNCT）と同等以上の性能を有するケーブルを使用し、口出線の黒色線、白色線に電源線を接続してください。
- 2 口出線の赤色線がアース線です。アース線を使用して、D種接地工事を行ってください。
- 3 図2①のように、口出線と電源線を圧着端子やスリーブ（別途手配）などを使用して確実に接続してください。
- 4 図2②のように、接続部は自己融着テープを巻いて防水処理を行ってください。また、接続部のみではなく、シース（外皮）部も自己融着テープを巻いて防水処理を行ってください。防水処理が不十分な場合、電線及びシース（外皮）部からの浸水による絶縁不良や、不点灯の原因となります。
- 5 図2③のように、自己融着テープを巻いた後に絶縁テープ（黒色）を巻いて、絶縁処理を行ってください。絶縁処理が不十分な場合、電線及びシース（外皮）部からの浸水による絶縁不良や、不点灯の原因となります。
- 6 図2④のように、シース（外皮）部から接続部まで全体を覆うように絶縁テープ（黒色）で巻いて絶縁処理を行ってください。
- 7 絶縁処理後は防水処理を確実にを行うため、防水性のあるボックスやアーム管内へ収納することを推奨します。
※口出線の接続は、電気設備技術基準及び同解釈第12条に従ってください。

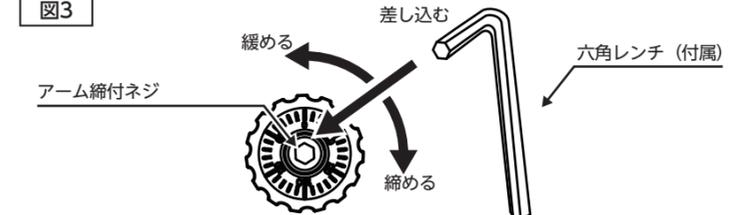
図2



照射角度の調整

- 1 照射角度の調整は、冷めた状態か点灯直後に行ってください。長時間点灯後は、本器具外縁部が高温になるため、やけどの原因となります。
- 2 本器具のアーム締付ねじを、図3のように付属の六角レンチで緩めて照射角度を調整してください。
- 3 照射角度調整後、アーム締付ねじを六角レンチで確実に締付けてください。締付けが不十分な場合、本器具落下による事故の原因となります。

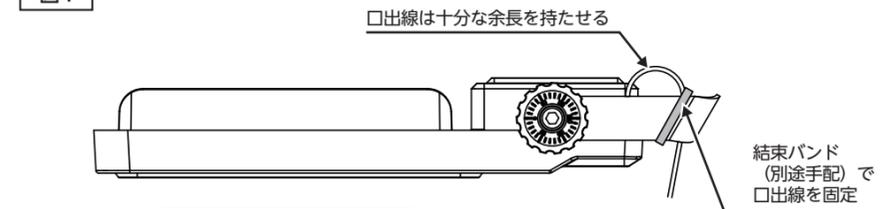
図3



電源線の引回し

- 1 本器具口出線の引き回しは図4のように、口出線根元部分に十分な余長を持たせてください。施工に不備があると、不点灯の原因となります。
- 2 口出線の余長を保つために、本器具のアームなどに、結束バンドや被覆付きの番線（別途手配）などで口出線を固定してください。固定する際は、口出線のシースにキズをつけない程度の力で締付けてください。施工に不備があると、不点灯の原因となります。

図4



落下防止ワイヤーの取付

- 1 本器具には落下防止ワイヤー、カラビナが取付されていますので、必ず固定してください。
- 2 落下防止ワイヤーの取付け方法
(1) 図5のように、アイボルト（M6～M10）を設営して、カラビナで取付けてください。
(2) アイボルト・ボルトの設営が難しい場合は、ワイヤーを架台やアームなどに巻き付けて、リングキャッチで取付けてください。取付け例となりますので、設置環境に合わせて施工してください。
- 3 落下防止ワイヤーの取付けは、ワイヤーの余長がないように取付けてください。施工に不備があると、本器具落下による事故の原因となります。

図5

